

今月のテーマ：経済の方向を  
どう変えていけばいいのか

2022年9月 Vol.30 No.9



# 環境と文明

認定NPO法人 環境文明21 会報

## 自社における取組と経営者としての信念

森 弘吉 (もり ひろよし/株式会社エムダイヤ 代表取締役)

エムダイヤ®は一言でいうと、-「もったいない」をカタチに®-を実現するために、日々努力している会社です。

常に変化するリサイクルニーズに対応し、ごみの山を資源に変えるべく、独自技術を追求しながら、様々な取組を進めています。

業務内容は、各種リサイクル機械の製造・販売、各種産業機械や工作機械の改造・修理ですが、リサイクル業全般を行う総合環境企業を目指している会社でもあります。

様々な廃棄物は、処理が困難でリサイクルしても質が低下し、価値が下がるものが多くあり、ごみとして焼却・埋立されたり、廃棄物の不法投棄を誘発する原因となっていました。このようなりサイクルの課題に対し、エムダイヤの独自技術により開発した機械を使い、従来はごみとして処理されていたものを再資源化する事によって、環境貢献・社会貢献につながる取組を行っています。

エムダイヤ独自技術は、日本をはじめ海外でも多数の国内・国際特許や商標登録を取得し(14頁参照)、様々な製品や技術、会社に対する各種表彰も受賞しています。

また、エムダイヤ製機械全般の「モノづくり」においては、鉄板や丸棒といった鋼材で調達し、溶接から機械加工、塗装、組立、納品、メンテナンスまで、一貫して自社生産する事を信念としています。

さらには、日本国内の販売形態においては、商社やエンジニアリング会社を通さず、エンドユーザーへの直販体制を推し進める事で、より高度なニーズに対しても適正な価格と短納期で提供出来るよう努力しています。

最近では、リサイクルにより元の製品より

次元・価値の高いものを生み出す「アップサイクル」の取組も始めており、機械を製造する際、下取りした別の機械から古い部品を取り出し、加工して再利用しています。現在はまだ数例ですが、今後はアップサイクルも積極的に進めていきたいと考えています。

さて、顧客や環境に貢献するには、まずは社員満足度を向上させる事が必要と考え、様々な取組をしています。この社員満足度は経営者の主観的な思いに留まらないように、多くの外部指標を取り入れています。

例えば、社員の「生活」と「安全」を優先するという考えのもと、健康経営に取り組んでおり、「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」や「とやま健康企業宣言 銀(Step1)」に認定されています。

また、女性社員が生き生きと活躍する事を証明する、「とやま女性活躍企業」の認定や、災害発生時の行動指針をマニュアル化し非常設備や非常食の拡充を図った「事業継続力強化計画」の認定等が認められ、ビジネスモデル、健康経営意識、リスクマネジメント等が高く評価された事で、「ホワイト企業認定 GOLD」にも認定されました。

エムダイヤは、経営と独自技術の両面から環境への貢献を目指しています。経営方針として、外部環境が変化しても社員一人一人が経営理念を実践し、自ら考え行動できるよう、会社全体での行動基準を策定し、その徹底を図っています。「とやまSDGs宣言」にも認定されていますが、高い自己資本比率を中心とした財務基盤と、SDGsの両輪をバランス良く回すESG経営が理想的な経営であ

## 経営者「環境力」大賞を受賞して

ると考えます。さらには、急成長はリスクと  
考えて、着実な成長を心がけた年輪経営を意  
識しながら、事業を通じて環境や経済に貢献  
したいと考えています。

現在、北海道から鹿児島まで、日本全国そ  
して海外にも、エムダイヤの製品は納品され  
ています。2022年である今年は、公的機関  
である「名古屋中小企業投資育成(株)」か  
らの出資を受ける事で、さらなる財務基盤の  
強化と信用力向上を進めました。また、環境  
機械の製造・販売における「モノづくり」の  
みならず、新たな工場(立山工場)を建設し、  
リサイクル業やリサイクル仲介業といった、  
「コトづくり」事業拠点を立ち上げました。

「経営者環境力大賞」を受賞した事で、経  
営者として、何をどうするかといった方針や  
考え方を改めて整理できた事に感謝します。

私が楽しいと思う事は、仕事を通じた「気

づきや学び」であり、異質に触れる事には、  
常にワクワクします。コロナ以前は全国をか  
け回り、2ヶ月に1度は仕事で海外へ出かけま  
した。異質に触れる事は、自分を大きく成長  
させてくれます。今年に入ってから、よう  
やく国内外に行けるようになってきました。

私は、想定外な事に出会う事はとても大切  
だと考えています。想定内の中にいると楽で  
すが、成長も停滞すると思います。だから、  
どんどん外国へ異質に触れるため出かけま  
す。多くの「経験」を通じて、私自身の自己  
成長と社員の成長を感じ取れると、大変うれ  
しく感じます。

これからも環境事業を通じて、会社が次々  
と新しいアイデアや技術を生み出し、異質や  
想定外を大切にする視点を常に持ち続け、社  
員と共に成長・発展出来る会社を目指してい  
きます。

### エムダイヤの独自機械

#### ◆「分離・破碎機 エコセパレ®」

異なる素材の混合物を一瞬で素材ごとに分離・破碎することができ、焼却や埋立処分されていた、廃棄物を資源化する事が可能となります。例えば、廃タイヤをこの機械にかける事で、わずかな工程で、ゴムと鉄芯に分離・破碎する事が可能となります。これによりゴムは新たなタイヤの材料に、鉄芯は製鉄所へ持ち込まれて、新しい鉄に生まれ変わります。あるいは、光ケーブルをこの機械に投入すれば、鉄芯とそれ以外に分離・破碎して、再資源化する事が可能となります。

#### ◆「切断機 エコカッターやエコループカッター®」

シャープな切れ味で、切断物が潰れない特徴があります。例えば、エアコンの室内機を切断する事で、熱交換器を効率的に回収する事が可能になりました。また、防弾チョッキに使用されるような、切断が難しいと言われる素材が入っている光ケーブルも、容易に切断して減容化や再資源化が可能となります。

#### ◆「基板剥離機 エココレクター®」

電子基板といった都市鉱山が多く含まれる電子チップを極力傷つけないで剥離する事で、より効率良く貴金属やレアメタルを回収する事が可能となります。

#### ◆「IoTモジュール エココントローラー®」

自社製機械や他社製機械に取り付ける事で、遠隔診断や生産管理、遠隔非常停止等を事務所や遠隔地にいながら、パソコンやスマートフォンやタブレットを用いて、確認・操作する事が可能です。